

Chigasaki Municipal Hospital [Newsletter]

2024.9

茅ヶ崎市立病院通信

第12号

特集1

高めよう！健康意識と糖尿病への関心

予防が重要な糖尿病及びその合併症。
糖尿病への意識を高めて健康に暮らすために
代謝内分泌内科の取組を
紹介します。



特集2

広がる ロボット支援下手術

昨年導入した手術支援ロボットを
活用する動きが広がっています。手術支援
ロボット「ダヴィンチ」を活用して新たな手術に
取り組む呼吸器外科、外科・消化器外科、泌尿器科の取組を紹介します。



特集 1

～高めよう！健康意識と糖尿病への関心～ 自分を知る。病気を知る。

日本において、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性 19.7%、女性 10.8%※におよびます。年齢が高い層でその割合は増えており超高齢社会である日本においては、国民病と言っても過言ではないかもしれません。健康寿命を延ばすために、糖尿病を通して自分のことをより知っていただくと幸いです。

※令和元年(2019)「国民健康・栄養調査」より

怖いのは合併症。早期から予防を

糖尿病とは「インスリン作用不足による慢性の高血糖状態を主要な特徴とする代謝疾患群」と定義されますが、少し簡単にお話しします。人間の細胞が成長・機能するにはエネルギー源が必要です。その一つであるブドウ糖は血管を通過して細胞に運ばれますが、細胞にブドウ糖が移動するときに膵臓から出てくるインスリンが必要になります。つまり、何らかの原因でインスリンが「出なくなる」、インスリンが「効かなくなる」といったことが起こると、血管から細胞にブドウ糖が移動しなくなります。細胞は栄養をもらえず飢餓状態になり、血管は余剰なブドウ糖によって傷つけられます。細胞も血管も全身にあります。このような病態があるため、糖尿病はさまざまな合併症を引き起こすことになるのです。

健診で自分の健康状態を知ることから

糖尿病は自覚症状が出にくいのが特徴です。実は自分が糖尿病だということを知らないまま何年も過ごしてしまっていて、症状が出たときには合併症が進行してしまっているケースも少なくありません。

大事なものは自分の健康に対する意識です。健康診断が一般的かもしれませんが、それ以外にもあらゆる場面で気づくチャンスがあります。例えば、他の疾患でクリニックに通院している方は、「私は糖尿病の可能性はありますか？」と主治医に尋ねてみるのも良いかもしれません。

また、糖尿病と歯周病は双方向性の関連が指摘されているため、歯科受診時に、歯周病を指摘されたら、「自分は糖尿病かもしれない」と思って、医療機関を受診してみてください。

「医科も歯科も受診していません」、という方は、是非ご自身の家族に目を向けてください。

両親や兄弟、祖父母に糖尿病の方はいませんか？「家族歴は未来の既往歴」という例えがあります。体質や生活環境が似ることから、ご家族に糖尿病の方がおられる場合、ご自身もその可能性が十分あると考えていただくことで、気づきの機会が生まれるかもしれません。

極端にしない。「中庸」を忘れずに

私が糖尿病治療の指導をさせていただく際に大事にしているのが「中庸」の考え方です。とにかくバランスが大切だということです。他の言葉でいうと「過ぎたるは猶及ばざるが如し」といったところでしょうか。「あれを食べてはダメ、これを食べていけば大丈夫!」、「体重を減らすために食事は一日1食! サラダとタンパク質だけ!」こういった食事療法の考え方は非常に極端であり、場合によっては糖尿病や付随する合併症を増悪させる可能性すらあります。糖尿病の程度にもよりますが、自由度を上げて小さな努力を継続できることが、生活習慣病と向き合う上でより重要だと考えております。

積極的に参加して糖尿病について学ぶ

茅ヶ崎市立病院では健康を意識するきっかけづくり、外来の患者さんやそのご家族に向けて「成人糖尿病教室」を年4回、「成人糖尿病講演会」を年2回開催しています。「講演会」では合併症も踏まえて、腎臓内科、循環器内科、眼科、歯科口腔外科などの専門家に講演を依頼して、合併症の怖さとともに糖尿病を考えます。年1回、茅ヶ崎市保健所との協働による、市民の方に向けた「糖尿病予防イベント」を開催しています。会場にて参加された皆様からの質問も積極的に寄せられます。

血糖マネジメントの状態が比較的安定している方でも、専門医の立場から現在の治療を確認するとともに合併症を評価し、必要があれば適切に当院の専門科に紹介させていただいております。病診連携によって地域の診療所の先生からご紹介いただき、評価後は診療所への通院に戻るケースも増えてきました。



糖尿病教室の様子。各領域の専門家の話を聞くことができます。



多職種のプロフェッショナルからなる当院の糖尿病教育チーム。様々な角度から予防や治療にアプローチできるのが強みといえます。

多職種連携によるチーム医療で総合的な対応を

当院では2011年より医師、歯科医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士、事務員からなる糖尿病のチーム医療を行なっています。糖尿病療養指導士の資格を持つ多数のスタッフとともに、生活全般における生活習慣病の取り組みをさまざまな視点からフォローし、患者さん一人ひとりに寄り添ったきめ細かい医療で、糖尿病の早期発見、早期治療、適切な血糖コントロールによる合併症の予防を進めています。

また、当院では「糖尿病教育入院」を行っております。典型的な例としては、2週間の期間で食事療法、運動療法、治療薬、その他糖尿病の全般における知識を身に付けていただきながら、病態に即した薬物療法も行います。個人的には、一日3食×14日間の計42食、病院食を通して、糖尿病食に求められる食事の量や味に慣れるだけでも意味があると考えております。入院中、主治医をはじめとした複数の医療スタッフとゆっくり対話し、糖尿病や自身の体に向きあう経験を通して、健康への意識を高めることが、以後の健康寿命の延伸につながることを願っています。

視点を変えて、明るく人生を過ごす

「あなたは糖尿病です」との診断がつくと、患者さんは「糖尿病って治らないですよ」と落胆されることがあります。「もう暴飲暴食ができない人生ですか」といわれると、そうかもしれませんが、暴飲暴食は糖尿病の方に限らず健康に悪いことは自明です。「私は一生病気と付き合っていかなければならないのか」と悲観になる患者さんもおられますが、私はそのときに自分の顔を指して、眼鏡に例えてお話をしています。私は目が悪く眼鏡をかけておりますが、それで不自由していないため視力自体を良くしようといった努力はしていません。前述では糖尿病の自覚症状がないことを怖く表現してきました。しかし、合併症を起こさず天寿を全うすることができるのであれば、糖尿病の方とそうでない方の差は大きくないと考えていただけるのではないのでしょうか。自分の体を知って、病気を知る。そうすることで自身の人生を豊かにすることができる。そのように考えていただくと幸いです。

代謝内分泌内科部長 長谷部 正紀

日本糖尿病学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医
平成30年4月入職 令和6年4月より現職

代謝内分泌内科

糖尿病、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病や、甲状腺や副腎、脳下垂体などから分泌されるホルモンの異常によって生じる疾患を扱っています。合併症のある患者さんには、多くの関連各科と連携しながら治療を行っています。



これからの茅ヶ崎市立病院の成人糖尿病イベント(2024年度)

●成人糖尿病教室

9月11日(水)・12月25日(水)・2025年2月12日(水)
会場：茅ヶ崎市立病院第2・3会議室
時間：14:00～16:00 参加費：無料(予約不要)

●成人糖尿病講演会

2025年1月23日(木)
会場：茅ヶ崎市立病院第2・3会議室
時間：14:15～16:00 参加費：無料(予約不要)
※zoomによるリモート参加も可能(要予約)

予約先は茅ヶ崎市立病院総務課 ☎0467-52-1111 内線1121

●糖尿病予防イベント

11月24日(日)
会場：茅ヶ崎市役所
時間：10:00～12:30 参加費：無料(要予約・11月1日より受付)
予約先は茅ヶ崎市役所保健所健康増進課 ☎0467-38-3331

広がる ロボット支援下手術

「ダヴィンチ」が変える手術のこれから

特集 2



当院でロボット支援下手術を導入している3診療科では、いずれもその優位性を実感しています。
(左)外科・消化器外科山田科部長、(中)泌尿器科杉浦科部長、(右)呼吸器外科井上科部長

昨年7月に当院に手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、これまで外科・消化器外科、泌尿器科でロボット支援下手術の活用が進められていましたが、この6月から呼吸器外科でも導入を開始。安全で質の高い医療を目指してロボット支援下手術に取り組む各診療科の現状とこれからの展望を紹介します。

患者負担が少ない手術を実現

「傷口が小さい」「手術中の出血量が少ない」「術後の疼痛が少ない」「回復が早い」「術後の合併症リスクが低い」

「ダヴィンチ」は多くのメリットとともに患者さんの体への負担が少ない手術を提供する手術支援ロボットです。

患者さんの体に開けた小さな穴から、先端に3Dカメラや鉗子などを装着した直径8mmほどのシャフトをアームを使って執刀医がコンピュータを操作します。内視鏡カメラの3D画像は約10倍以上の拡大視野で立体的に術野をとらえ、人間の手や腕以上に自由な可動域を持ち、執刀医の意図しない手の動きや震えを伝えない手ぶれ補正機能が付いた鉗子が精密な手技を再現し、患者さんの負担の少ない正確な手術を可能にします。

技術革新とともに進化する医療技術。当院ではこうした最新医療技術を積極的に取り入れ、地域の皆さんの健康な暮らしをお手伝いしています。



執刀医が拡大された術野の画像を見ながら操作するペイシェントカート

呼吸器外科



呼吸器外科部長
井上 雄太

日本外科学会外科専門医、
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医
令和4年4月入職より現職

より効果的な呼吸器外科手術の新しい選択肢として

呼吸器外科領域ではロボット支援下手術は、狭い部分での処置に長けているという特徴から、縦隔腫瘍(*)での導入を進めています。

従来の縦隔腫瘍の手術、特に胸腺上皮腫瘍で開胸手術を選択する場合、胸骨という胸の真ん中にある板状の骨を切離し左右に開くことで心臓の前の胸腺を摘出していました。しかし骨を切離した場合1か月くらいは力仕事を控えなければならないなど運動制限がかかったり、切離した骨がくっつくまで痛みも感じやすいです。そのため骨を切らない手術をする方法として、肋骨の隙間や剣状突起下から器具を入れ操作する胸腔鏡下手術が開始され、社会復帰も従来の開胸手術よりも早くなりました。しかし、器具の操作制限により大きな腫瘍ではどうしても開胸手術に頼らざるを得ない場面も多くなりました。胸腔鏡下手術よりも胸腔内で自由に鉗子やカメラの角度を変えられるロボット支援下手術ならば、さらに手術の精度が高まるだけでなく、開胸手術

を行っていた症例の一部も対応できるようになりました。ロボット支援下手術は胸腔鏡下手術の発展形としての縦隔手術の新しい選択肢として大きな意味があります。既に6月に1例行い、広く告知していないにも関わらず、7月、8月、9月にも予定が入っており、ロボット支援下手術のニーズを感じます。

呼吸器外科では基幹病院である東京大学とも連携しており、リモートにより症例提示をしながらカンファレンスを行うなど、高次医療機関と共有する知見を積極的に地域に提供して、より確かな治療を進めています。今後、縦隔腫瘍のロボット支援下手術の経過を見て、さらに肺がん手術への展開を検討していきたいと考えています。



精密な動作を可能にする鉗子。つまむ、はがす、切る、縫う等コントローラーの操作に連動して正確に動きます。

*縦隔腫瘍…縦隔とは左右の肺の間に位置する部分で、心臓、大血管、気管、食道、胸腺などの臓器があります。縦隔腫瘍はこの縦隔内臓器に発生した腫瘍で、胸腺腫、のう胞、神経原性腫瘍、胚細胞性腫瘍、胸腺がんと悪性リンパ腫などがあります。

外科・消化器外科



外科・消化器外科部長
山田 純

日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、身体障害者福祉法指定医
平成28年4月入職
令和5年4月より現職

6月からロボット支援下手術を胃がん手術にも拡大

昨年7月から直腸がんに対する直腸切除・切断術、さらに11月から結腸がんに対する結腸切除術に「ダヴィンチ」によるロボット支援下手術を実施。手術実績は合わせて、50例以上となっています。

外科・消化器外科ではここ数年、腹腔鏡下手術が一般的になっていましたが、腹腔鏡下手術では体内に挿入する鉗子やカメラが直線的な動きに制約されるのに比べ、ロボット支援下手術では人間の手以上に自由な可動域を持つカメラや鉗子などの装置を利用でき、またカメラの画像も3Dでさまざまな部分を映し出せることから、これまで腹腔鏡下ではできなかった処置や開腹手術でも手の入らなかった部分への処置も可能になりました。

また6月より胃がんの胃切除・切断術にもロボット支援下手術を導入しています。大きな倍率に拡大できる画像と精緻な動きを可能にす

る鉗子などにより、脾臓やリンパ節を傷つけることなく、合併症も減少したというエビデンスも出ています。

学会のガイドラインに沿って、ステージ1の早期がんにはロボット手術、進行したがんには腹腔鏡下手術を、必要に応じては開腹手術で対応していきますが、今後は、ロボット支援下手術は当院の外科・消化器外科手術の中心になるかもしれません。お住まいの地域にも先進のロボット支援下手術を実施している病院があることをご理解いただいて、胃がん・直腸がん・結腸がんの心配があるようでしたら、当院にご相談ください。



体内に挿入する鉗子は柔軟な操作ができるように関節を備えており、人の手よりも広範囲に稼働します。

泌尿器科



泌尿器科部長
杉浦 晋平

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、身体障害者福祉法指定医
平成30年4月入職
令和2年4月より現職

質の高い手術を短時間で。機能温存にも効果を発揮

昨年7月から前立腺がんに対してはロボット支援下手術を行い、症例数は30例を超えています。前立腺がんの手術に関しては、それまでほとんど腹腔鏡下手術でしたが、その全てがロボット支援下手術に代わりました。

ロボット支援下手術では、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステム映像の下、拡大視野で、今まで認識できなかった細かい繊維を確認しながら精巧な手術ができるようになります。また、炭酸ガスで腹腔内を膨張させて手術するため、開腹手術に比べて出血は少なくなります。さらに、短期間で操作に慣れやすく、手術の質も向上するため、時間をかけずに手術を終えることができ、患者さんの体力的な負担も大幅に減少させるというメリットもあります。また、前立腺手術では尿失禁などに対する機能温存も大きなテーマですが、これもロボット

支援下手術の方が回復が早いようです。

泌尿器科領域の中でもロボット支援下手術の保険適応が広がっていく中、9月ごろには膀胱でのロボット支援下手術を、さらに腎臓手術へと展開を考えています。

茅ヶ崎市には泌尿器科のクリニックが多くないので、泌尿器科の悩みを内科の先生に相談されることも多いと思いますが、当院は専門病院と同じように質の高い医療を提供しています。泌尿器系で少しでも気になることがあれば、かかりつけの先生とご相談のうえ、当院の受診をご検討ください。



術野を立体的な映像でとらえる3Dカメラ。患部を様々な角度からとらえることができます。

DMAT(災害派遣医療チーム)を石川県へ派遣しました

当院は、1月1日に石川県で発生した令和6年能登半島地震に対し、厚生労働省の要請を受けDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣を行いました。

活動の拠点は地域の拠点病院で入院治療ができる唯一の病院である、珠洲市総合病院です。1月13日から17日にかけて診療面、運営面でのサポートを行いました。

被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは

県内外で地震及び航空機・鉄道事故などの大規模災害の発生直後に活動できる機動性を持ち、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームです。



特定行為研修指定研修機関に指定されました

当院は、令和6年2月に厚生労働省から「特定行為研修指定研修機関」として指定されました。

7月には特定行為研修の開講式が実施され、「創傷管理関連」と「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分で院内から2名の研修生を迎えて研修がスタートしました。



特定行為研修 (開講式)

特定行為って？

平成27年に厚生労働省が施行した「特定行為に係る看護師の研修制度」によって定められました。特定行為とは専門的な知識と技術が必要とされる行為のことで、21区分38行為があり、それぞれ区分ごとに研修があります。

医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書(指示)をもとに特定行為研修を受けた看護師が患者さんへ必要なケアをタイムリーに提供できるといわれています。

定期的な受診が大切!

人間ドックのご案内



頭部MR検査に使用される3.0テスラMRI装置

- ◆精密検査や治療が必要な場合、当院の予約が可能で人間ドックのデータが活用できます。病院を探す手間や再度同じ検査を行う負担を軽減できます。
- ◆独立した施設で落ちついた環境での受診ができます。
- ◆午前中に検査、午後に結果説明と医師による健康指導を行います。
- ◆富士山を望む眺めのいい院内レストランに昼食を用意しています。
- ◆内視鏡検査は、内視鏡センターでの鎮静下内視鏡検査への変更も可能です。

実施日 月・火・金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前8時30分から

料金 Aコース **49,500円**・Bコース **38,500円**
(ともに消費税込)

オプションも充実

- | | |
|---|---------------------------|
| ▶ 頭部MR検査 …………… 39,600円 | ▶ 腫瘍マーカー検査 …………… 4,400円 |
| ▶ 婦人科系検査(女性のみ) …… 2,200円 | ▶ C型肝炎検査 …………… 1,320円 |
| ▶ HPV検査
(婦人科系検査受診者のみ) …… 1,730円 | ▶ PSA(前立腺)検査(男性のみ) 1,760円 |
| ▶ 乳房検査
(マンモグラフィ) …………… 3,300円 | ▶ H・ピロリ菌抗体検査 …………… 1,650円 |
| ▶ トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)
(乳房検査受診者のみ) …… 6,600円 | ▶ エイズ検査 …………… 1,430円 |
| ▶ 骨密度測定検査 …………… 880円 | ▶ 梅毒検査 …………… 510円 |
| | ▶ バリウムから内視鏡への変更 3,300円 |
| | ▶ 鎮静剤使用 …………… 2,200円 |
| | ▶ CA125検査(女性のみ) …… 1,760円 |

お申し込みについて

予約制となります。
受診希望日の2週間前までに、電話か、直接来院してお申込みください。健康保険組合に加入されている方は、組合経由でお申し込みください。

健康管理センター

電話 0467-52-1566(直通)
受付時間 午前8時30分から午後5時、月～金曜日(祝日、年末年始を除く)

■ 紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、一般病床200床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに当院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただきます。



茅ヶ崎市立病院

TEL:0467-52-1111



病院ホームページ

- ◇ 受付時間 = 午前8時30分～11時
- ◇ 診療時間 = 午前9時～午後5時
- ◇ 休診日 = 土・日曜日、祝日、年末年始